

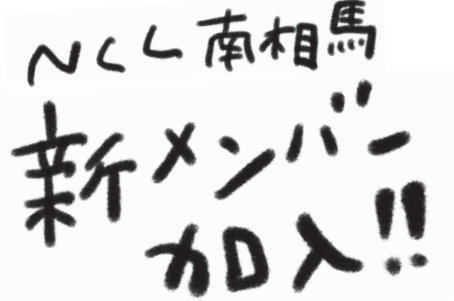


9月
September

NCL
南相馬
シンブン

Next Commons Lab
南相馬

この「NCL南相馬シンブン」は起業型の地域おこし協力隊、
NCL 南相馬の活動を市内のみなさまにお伝えする新聞です。
年度内に3号の発行を予定しています。
今号の表紙は地域留学しているさとのば大学生が写した
南相馬の美しい夏の夕暮れです。



立川 哲之さん

8月から、酒造りを通じたコミュニティ形成を目指す Community Breweryプロジェクトに参画した立川さん。冬はお酒の醸造に携わり、夏は全国の酒蔵を巡っていたという筋金入りのお酒好きである立川さんに、NCL南相馬にどういった経緯で参加することになったのかを訊きました！

—立川さんが南相馬で取り組むのはどういったことですか？

小高に新しい酒蔵をイチから立ち上げる(株)haccobaに参画し、次の冬場の完成を目指してプロジェクトに取り組んでいます。完成後は、酒造りはもちろん、これまでの日本酒にまつわる活動経験を生かし、広報・PRも行っていく予定です。

—どういったきっかけで NCL 南相馬に応募したのですか？

きっかけは二つあります。一つ目は、NCL 南相馬のラボメンバーで、(株)haccobaの設立者でもある佐藤太亮さんが、醸造責任者を募集している情報を見つけたことです。佐藤さんが書いた記事を読み、経緯や背景を知

ると共に、これから目指す未来・想いに強く共感しました。そして二つ目は、ボランティア活動をしていた大学生の時から漠然と思っていた「いつか福島の浜通りで酒蔵を立ち上げたい」という夢を実現する機会になると思ったからです。相双地域は、震災の影響で四つあった酒蔵が全てなくなりました。酒蔵がない状態は、地域にとっても損失ですし、僕としてもやるせない気持ちでいっぱいでした。佐藤さんの話を聞いて、「再び、この地域にお酒を造る場所を復活させたい」という野望がふつふつと湧きあがり、これだ！と思いました。

—仕事や活動の背景にある想いを教えてください。

お酒は、地域の人にとっての誇りであり、地域を物語っていく上で欠かせないものだと思っています。これは、僕自身が学生の時に実際に東北に足を運び、地域の人との関わりの中で気付いたことです。震災復興のボランティアで東北に行ったのですが、当時の僕は日本酒が大嫌いでした。臭くてまずくて、なんでこんな液体を作っているんだとすら思っていましたね。祭りの手伝いが終わった後に、地域の人に「おらがまちの酒が世界一うまいから、飲め～」と勧められて。そこまで言うならと思って飲んだお酒がとても美味しくて、日本酒に対する印象が180度変わりました。よそから来た大学生に、地元のお酒を「世界一うまいぞ」といって勧めてくる地域の人姿を見て、お酒はこの人たちの誇り、アイデンティティであり、地域を支えているんだと強く感じました。お酒を通して、人と人がつながり、あらゆる地域産業が結びつき、盛り

上がっていく。お酒こそが地域の魅力のキーになると考えています。

—未来のビジョンを教えてください。

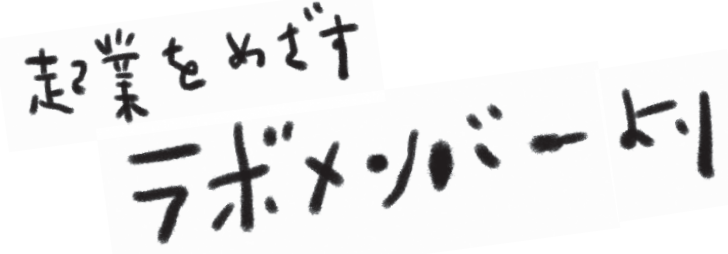
僕は、独自の文化・豊かさをもった「土地」が大好きです。しかし、南相馬をはじめ、さまざまな地域は今、人・経済の流出、伝統技術の喪失など様々な課題に直面しています。一次産業や観光業にも波及効果をもたらすことが出来るお酒を起点として、日本の地域や文化の魅力を未来に残していきたいですね。継承されているのが当たり前、そんな自然な状態が理想です。そのためにも、まずは自分自身がワクワクして、活動していきたいと思っています！

—最後に一言！

数十年ぶりに南相馬で造られたお酒が復活することになります。酒蔵が出来て終わりではなく、むしろそこから本当のスタート。しっかりと地域に根付いて誇りを持ってもらえるお酒になった時に初めて「地酒」になると思っています。これから始まる蔵で、これから始まる酒造りで、地域のみなさんに「おらがまちのお酒だ」と思ってもらえるようにがんばります！また、9/15から酒蔵立ち上げに向けたクラウドファンディングが始まります。支援していただいたお金は、酒蔵の初期投資の一部にあてる予定です。返礼品として、酒蔵でつくる最初の2本をお送りします。その2本から美味しい方を選んでいただいて、看板商品となるお酒を決める企画もやります。みなさんと一緒にこれから作る酒蔵を育てていけたら、すごく嬉しいです！よろしくお願いします！

プロフィール

1993年東京生まれ。大学在学中に日本酒の魅力の虜になり、2年生の時、復興支援イベントとして「食と酒 東北祭り」を立ち上げる。大学卒業後、研究開発系ベンチャー企業で働く。その後は、地酒専門店にて日本酒の知識を深め、酒造店にて住み込み酒造り修行を行う。2018年からは、フリーライターとして全国1500の酒蔵を巡る旅に出る(現在627蔵)。好きな物：お酒、旅、野球、発酵食品
座右の銘：和醸良酒
①和をもって、良酒を醸す
②良酒をもって、和を醸す



水谷 祐子 みずたに・ゆうこ

〈Mobile Aroma Salon PROJECT〉



アロマ教室でのひとコマ。最近講師活動も積極的にしています。

佐藤 太亮 さとう・たいすけ

〈Community Brewery PROJECT〉



建築のプロの方々とリノベーション開始。民家が本当に酒蔵になるのかな。

塚本 真也 つかもと・しんや

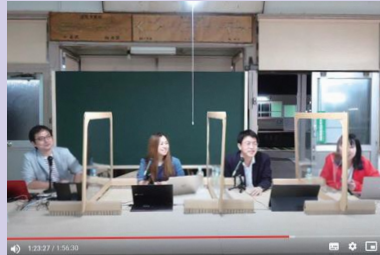
〈Local SE PROJECT〉



小高工房とうがらしプロジェクトをお手伝いしています。
<https://odakachilli.thebase.in/>

高田 江美子 たかだ・えみこ

〈Local Marketer PROJECT〉
〈Way-Way PROJECT〉



小高駅舎の利活用にチャレンジ中。元駅員室の改修、オンライン配信などを実施しました。

立川 哲之 たちかわ・てつゆき

〈Community Brewery PROJECT〉



いままで宮城で酒を造っていましたが、小高の田町で酒蔵を立ち上げるために移住してきました！

西山 里佳 にしやま・りか

〈Artviva PROJECT〉



活動のヒントに桃内の天野邸を見学させていただきました。芸術家の息吹を感じる建築に感動！

一関 宙 いちのせき・はるか

〈Way-Way PROJECT〉



小高駅舎で高校生の見守りをしています。快適になった元駅員室をぜひ活用してみてください！

神 瑛一郎 じん・よういちろう

〈Horse Sharing PROJECT〉



馬の調教の傍ら、市民の皆様にも馬の魅力を知って頂ける事業も始めます！！

井上 雄大 いのうえ・ゆうだい

〈コーディネーター〉



さとのば大学という地域留学・オンライン学習プログラムで受け入れている学生さんとわいわい活動中！



本宮市の大天狗酒造にて



仕込み中

お知らせ TOPICS

酒蔵立ち上げに向けて、 応援してください！

Community Breweryプロジェクトでは、酒蔵兼バーの立ち上げを迎えるにあたり、クラウドファンディング(※)を実施します。小高区の民家を改築して建設する酒蔵で、最初に醸造した「SAKE」を返礼品としてお渡しする支援コースも設けています。

ぜひ取り組みを応援いただき、一緒に最初の「SAKE」を楽しむ仲間になってください！よろしくお願い致します。

※クラウドファンディングとは、「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する」ことで、プロジェクトの起案者は広く世の中に活動やアイデアを紹介し、それに共感した人・応援したい人が誰でも支援者として支援できる仕組みになっています。



酒蔵兼バーの完成予想図

クラウドファンディング 挑戦中!!

2020年9月15日～11月30日 ※変更可能性あり

右記 QRコードまたは下記 URL から
活動の詳細、ご支援の方法をご覧ください。

【<https://www.makuake.com/project/haccoba/>】



NCL南相馬 とは？

全国で地域おこし協力隊を活用したプロジェクトを推進している一般社団法人Next Commons Lab (ネクストコモンズラボ／略称：NCL)と協働し、地域課題の解決や地域資源の活用を目指したプロジェクトを推進する、南相馬市の事業です。プロジェクトを推進する起業家(ラボメンバー)と、起業家の活動を支援し事務局を運営するコーディネーターで構成され、全員市外から移住して南相馬に拠点を持って活動しています。

【2019年度 活動報告冊子】

2019年度の活動報告をまとめた冊子も下記の市内各所で配布中です。

南相馬市役所・鹿島区役所・小高区役所・
南相馬市立中央図書館・小高交流センター など

【動画配信】

ラボメンバーの活動の様子を動画にて
配信中です。右記 QR コードに
アクセスしぜひご覧ください。



お問い合わせ INFORMATION



【NCL ウェブサイト】

<http://nextcommonslib.jp/minamisouma/>



【NCL南相馬フェイスブック】

<https://www.facebook.com/nclminamisoma/>



【NCL南相馬Instagram】

ユーザーネーム：
ncl_minamisoma



NCL_MINAMISOMA

発行元：Next Commons Lab 南相馬

発行日：2020年9月

デザイン：marutt 株式会社

協力：南相馬市観光交流課、株式会社小高ワーカーズベース、前野有紗・黒澤蓮南(さとのば大学)